第46回コンクリート工学講演会 | A. 材料・施工 | 再生コンクリート

再生コンクリート

座長:坂井吾郎(土木),辻埜真人(建築)
2024年6月27日(木) 13:15 〜 15:00 第1会場 (小展示室A)

[1184]再生骨材 L，粒状化再生骨材，スラッジ細骨材の置換率がコンクリートの圧縮強度に及ぼす影響について

白岩誠史[1], 鈴木好幸[1], 吉野玲[1], 福留和人[1] (1.安藤・間)

キーワード：再生骨材コンクリート、再生骨材、粒状化再生骨材、スラッジ、三成分系結合材、圧縮強度

解体コンクリート由来の再生骨材 L，戻りコンクリート由来の粒状化再生骨材，スラッジケーキ由来のスラッジ細骨材で普通骨材を置換して供試体を作製し，各材料の置換率の増加が圧縮強度に与える影響を確認した。（1）再生骨材 Lでは，細骨材のみ強度の低下傾向がある。（2）粒状化再生骨材では，細骨材および粗骨材ともに強度の低下傾向があり， W/Cが小さくなると顕著になる。（3）スラッジ細骨材では，高炉スラグ微粉末混合の B種相当で強度の低下傾向があるが，これにフライアッシュを20%混合した三成分系の結合材では，ほぼ変わらない結果となった。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会